

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	相互の特長をいかした多様な連携の推進		課(室)名	政策課
	施策	連携の推進		電話番号	087-839-2135
	基本事業	連携中枢都市圏における連携事業の充実		事業実施主体	市
	事務事業	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	人口減少、少子・超高齢社会にあっても、経済を持続可能なものとし、より住民が安心して暮らしを営んでいけるようになるため、瀬戸・高松広域定住自立圏から国が進める新たな広域連携制度の連携中枢都市圏へ平成28年度から発展的に移行し、圏域全体の更なる活性化と魅力ある都市圏の形成を図る。また、本市が中心となって、圏域における人口流出の抑制、維持に貢献できるよう、圏域の経済を活性化するとともに、住民の生活環境の利便性を維持向上させる連携事業の実施に努める。				
30年度概要	ビジョン懇談会等の開催 圏域若者会議（仮称）の開催 講演会開催（1回） 連携中枢都市連絡会議出席 ポータルサイト保守				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	7-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	本市及び近隣自治体
意図（どのような状態にしたいか）	圏域における人口流出の抑制、維持に貢献できるよう、本市が中心となって、圏域の経済を活性化するとともに、圏域住民の生活環境の利便性を維持向上させる施策・事業を推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
近隣市町協議数（協議市町数×回数）	協議数		21	21	28	28

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
圏域で取り組む連携事業の数（都市圏ビジョン掲載事業数）	事業	目標値		71	72	73	73
		実績値		71	71		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 瀬戸・高松連携中枢都市圏ビジョン懇談会、推進委員会を開催し、圏域全体の経済成長のけん引に係る政策分野、新たに生活機能の強化に係る政策分野において2事業を追加し、より広域な組織への移行等に伴う2事業を削除したことにより、連携事業の数の合計は71事業となり、おおむね目標値を達成した。	(目標達成度)		(達成度)	98.6%	34点		
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	(目標達成度)		(達成度)				

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	7,677	7,111	5,518	5,558
（事業費）	[円]		2,400	966	1,006
（職員人件費）	[円]	7,677	4,711	4,552	4,552

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	改善継続
------------	---	--------------------------	------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

連携中枢都市圏ビジョンに掲載されている各種事業について、重要業績評価指標（KPI）を設定し、事業の推進を図った。圏域全体の経済成長のけん引及び高次の都市機能の集積・強化に関する分野について、今後は、新たな視点による事業に取り組む必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

圏域若者会議（仮称）をビジョン懇談会の部会として設置するなど、「圏域全体の経済成長のけん引」の分野に資する事業の拡充及び新規事業の具体化に重点的に取り組む。